




西尾市議会



議会報告会2023 【経済建設委員会】

委員長:永山英人 副委員長:小林孝幸

委員:鈴木規子 牧野次郎 鈴木正章 藤井基夫 中村直行

〈環境部〉

- 地球温暖化対策 2710万円

地球温暖化防止対策の一環として住宅用地球温暖化対策設備及び低公害車の普及を図る

- 産業廃棄物対策 699万円

一色町生田竹生新田地内における放置された廃棄物最終処分場跡地周辺の生活環境保全上の影響を監視するため、県環境局との連携で周辺水路の水質・底質土壌調査、周辺井戸の水質調査及び跡地地表面のガス調査等を実施

- 廃棄物資源化 3億7537万円

▼ごみ減量化 ▼空き缶等分別収集 ▼集団回収推進 ▼常設資源ステーション設置
▼ごみ指定袋購入 ▼佐久島焼却炉管理運営など

◎ごみ減量対策について

- 岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画
- 令和12年度の供用開始を目標に、施設整備に向けて必要となる各種調査を実施
- 可燃ごみの4割の雑がみを減らし、リサイクル率アップを目指す



〈建設部〉 防災や新規事業について

◎河川防災情報整備事業

- 近年頻発している集中豪雨や今後の降雨量の増大に備え、河川防災情報が確認できるシステムを構築する
- 亀沢町の二の沢川、道光寺町の道光寺川、平坂町の堀割川の3ヶ所に監視カメラ及び浸水検知センサーを設置。西尾市公式LINEで通知し、リアルタイムで確認することができ、市民の迅速な初動対応に繋げる

◎急傾斜地崩壊対策事業

幡豆地区など、土砂災害警戒区域(439ヶ所)への早期対策

◎自転車ネットワーク計画整備 670万円

自転車走行空間の整備を行う上での基本方針と計画目標を設定し、それを踏まえた自転車ネットワーク路線を選定



〈産業部〉 産業について

◎ビジネスコンテスト(新規) 1000万円

イノベーションを生み出すスタートアップ企業を創出し、中心市街地の活性化や西尾市をもっと元気にする新事業

◎未来共創拠点設置運営事業 3867万円

未来共創拠点となる事務所を設置し、ビジネス支援としては、事業者に対する相談対応や、事業者の現状把握、事業者向けのセミナーの企画運営を実施する。中心市街地活性化のための事業者や市民の交流や活動のための場所としての使用やワークショップの会場として使用する。

◎企業誘致推進事業 3645万円

税込及び雇用の拡大、産業の活性化等を目的とし、市外企業の誘致と市内企業の流出防止を図る
(令和5年度の進出予定事業者は3社)

▼企業立地ワンストップサービス ▼市内「ものづくり企業」との展示会共同出展 ▼ローカルではたらこう事業

▼モノづくりDX導入促進 ▼消費者向け製品開発促進事業 ▼工業系用地開発関連業務

〈交流共創部〉

◎ (仮称) 駿馬瀬戸地区テニスコート整備事業 4億5545万円

既存のテニスコート施設の老朽化等により、統廃合が必要なことから広域の大会が開催できる8面のテニスコートを令和7年度に開設 【公園事業区域は8年度以降の整備を予定】



◎ フルマラソン開催事業 1億5641万円 (令和4年度からの繰越) 令和6年1月21日(日)開催予定

西尾市の一大スポーツイベントである、「にしおマラソン」を今年度は、コース変更も視野に入れ、さらにブラッシュアップした大会となるよう、地域全体の活性化を図る

〈交流共創部〉

◎ 総合体育館改修事業 5729万円

建設後、30年が経過し老朽化している施設の改修及び吊天井耐震対策等の大規模改修を行う

令和8年度開催予定のアジア競技大会に向けて、施設のバリアフリー化を進める

・ eスポーツ事業 2399万円

eスポーツを活用したスポーツリズムの創出と、更なる観光誘客の促進を図る

◎ 道の駅にしお岡ノ山拡張計画策定 1573万円

駐車場の拡張と、手狭になっている産直等の売り場の拡張を行うための計画づくり

・ 文化会館長寿命化事業 12億2806万円

大規模改修工事【工事期間】令和5年6月～6年11月まで（休館/6月1日～令和7年1月3日）

<都市整備部>

- 土地区画整理補助金 1億3660万円

土地区画整理事業を施行する土地区画整理組合に補助金を交付。対象は西尾上矢田北部、西尾天神前の2組合

◎名鉄上横須賀駅周辺地区まちづくり調査検討事業 1865万円

地区の交通条件や自然条件、公共施設等調査、商業施設等の意向調査を実施。地域のニーズを踏まえたまちづくりの基本構想を策定

- 公園整備事業(県補助分) 6000万円

旧西野町保育園跡地(都市公園/にしのみ茶公園)の公園整備

- 公園・緑地トイレ改修 3500万円

矢作川西尾緑地の汲み取り式簡易トイレ2基を撤去、水洗式トイレ1基を設置



〈都市整備部〉

- 三世代同居対応住宅支援 750万円

親世帯と子世帯が三世代同居するために住宅を新築、増築、改築、リフォームする工事に対して補助。
補助対象経費の二分の一の額。限度額30万円

- 住宅・建築物安全ストック形成 6229万円

住宅の耐震診断、耐震改修の実施及び耐震性の低い住宅の取り壊しに対する補助を行い、防災の促進を図る

- 市営住宅整備 1億3505万円

屋内バリアフリー化改修工事、市営住宅長寿命化工事など

トピックス TOPIX

その1

「求償権の放棄について」の議案の撤回について

その2

『燃えるごみ』減量のための意識改革について

経済建設委員会 3月議会におけるトピックス～その1

1 「求償権の放棄について」の議案の撤回

- 「駿馬工業用地造成のために取得した土地に確認された廃棄物の処理するために要した費用1億8,200万円を各地権者に求償する権利の放棄」の議案の撤回。
- 市長「旧地権者に対し、求償の権利の発生について疑義が生じた。精査のため撤回させていただく」
- その後、市民から「廃掃法に違反する契約では？」との監査請求。
- 専門的な知見による客観的監査が可能な個別外部監査人に判断を委ねる。
監査の期限は7月5日

※**求償権**とは、他者の債務を弁済した場合に、その他者に対して弁済額の返還を求める権利。

※**監査請求**とは、住民が自治体の長に対して、財務会計上の違法な行為があると認める場合、監査委員に対して監査を求め、必要な措置を講じるよう請求すること。

経済建設委員会 トピックス～その2

1. 『燃えるごみ』減量のための意識改革

～西尾市ごみ問題を考える市民会議からも提案～

【実験1】

福岡県柳川市

2年前「燃やすごみ」から「燃やすしかないごみ」に変更

- ・大袋(30ℓ)を1枚20円から40円に⇒年間10%減った！！
- ・プラ袋(50ℓ)を新設、1枚10円 ⇒ 回収量は倍増！！

【実験2】

京都府亀岡市

4月から「燃やすごみ」⇒「燃やすしかないごみ」に変更。

「埋立(うめた)てごみ」⇒「埋立てるしかないごみ」に。

- ・中身の45%は資源ごみ(弁当の空箱、カップ麺の容器や古紙、包装紙)
- ・処理に年間11億円。焼却電気代は1.5倍↑。
このままでは処理費100億

